

令和2年度 第1回学校評議員会 報告

1 期 日 令和2年6月8日(月) 13:30~14:55

2 会 場 生物科学科実習室

3 参加者

学校評議員 6名

学校関係者 校長 副校長 事務長

各部主任 記録者 計9名

4 意見を求めた事項

- (1) 学校運営計画について
- (2) 学校概況について
- (3) 教育指導計画説明
- (4) 高校魅力化の取り組みについて

5 意見

- 自分達の頃は農業や農村に貢献したいという気持ちから花農に入学した。しかし、現在では農業・農村は日々変化しているので、その変化に対応できる人間を花農で如何に育てていくかが重要である。
- 花農生は、礼儀正しく素晴らしいという認識を持っている。このことは、社会に出た時つまづかないのではないかと思う。今後も地域と連携し、好ましい状況を継続させたい。
- 農業高校の教育の中で、どんな方向にもいける人材育成が大切である。農業以外のことも出来ることを入学時からアピールし、農業をベースとして人間づくりを行っていることを具体的にPRすることが大切ではないか。
- 花巻市外から子供を入学させている。中学の時から一人でも花農に行きたいと言っていた。専門的に学べるだけで魅力であるが、農業高校という響きが若い子にはちょっと固いイメージである。一日体験入学で花農の良さをアピールできると良い。
- 今年は難しいと思うが、市民が参加できるイベント等を企画して欲しい。
- 他校に負けずに本校の鹿踊も形を崩さず伝統を継承して欲しい。特に、発想の自由な校風をつくり上げて欲しい。
- 少子高齢化は、避けてとおれない問題である。就職した生徒がすぐに辞めるようなことなく、長続きできるような指導が必要である。
- 中学校の部活動では、団体競技に入れたがらず、個人競技に入部する傾向がある。団体競技では、特に責任感や協調性などが養われるので、就職の際にはとても有利になるのではないかと思う。
- コロナの関係で、市内の中学校も制限をかけて部活動を行ってきた。中学生は、活動自体も自分たちがやりたいのならやる、無理して参加を求めないスタンスが出てきている。

- 学習の仕方もやらせられるような形ではなく、自分でテーマを決めて考え問題を見つけて考えて解決していくことを体験することがなければ、本当の自分の生き方やキャリアにつながっていかない。高校では社会の人とつながりながら学ぶことが中学校に比べて更に多く、いい勉強になり展望が持てる。

質問1) 今年コロナの関係で、中学生体験入学を止めている学校もあり、心配している。また、体験入学があってもなくても、中学校への説明をお願いしたい。

回答1) 中学校には訪問は例年通り伺いたい。

一日体験入学は、本校はコロナ対策をして実施する。昨年度と違う点は午前と午後に分けて、生徒分散型で行ない、3学科全てを体験してもらう。体験入学で中学生には色々な情報を得てもらいたい。

質問2) 長男の時は、卒業生が中学校に来て話す機会があったと思うが、今はないのか。

回答2) 要望があった中学校には、卒業生を派遣している。本校生徒のアンケートから、自分の中学校の生徒に是非花農祭に来て欲しいという期待がある。